

避難訓練実施計画（土砂災害）

1 日時 令和 年 月 日（ ） : ~ :

2 参加者 計 名
内訳 職員 名、施設利用者 名、地域住民等 名

3 訓練想定

(1) 実施場所

(2) 避難場所

(3) 想定気象状況

- ・ ○月○日、前線の停滞と共に台風が接近
- ・ ○時○分、県央部においては1時間降水量が○mm を超える降雨が続いており、盛岡地方気象台から大雨警報（土砂災害）が発表された。大雨警報（土砂災害）の危険度分布では、市内の複数箇所土砂災害発生危険度が高まっている。

4 実施前

- ・ 「避難確保計画」の確認（防災体制、情報収集・伝達方法、避難誘導、避難経路、役割分担）
- ・ タイムラインの確認
「避難確保計画」中、参集基準や避難基準に合わせて、訓練参加者各々の個別行動を計画する。
- ・ 机上訓練等の実施
必要に応じて、事前に模擬避難訓練等を実施する。

5 訓練時

避難確保計画に基づき情報収集、避難誘導及び避難行動開始。なお、安全に避難するため、次の確認等を行う。

- ・ 情報収集手段・伝達方法に問題がないか確認
- ・ 災害時の避難経路の状況を想定し、危険箇所の確認
- ・ 施設から避難場所までの移動時間の計測
- ・ 避難中の疲労感の確認

6 訓練後

- ・ 実施状況を振り返り、「避難確保計画」に反映するとともに関係者間で共有する。
- ・ 訓練実施報告書を市担当課へ提出。

訓練のポイント

1 防災体制

- ・ 気象警報等防災情報の収集等、各活動の対応要員を決めているか。
- ・ 情報の収集・伝達に用いる設備が確保されており、正常に稼働するか。

2 避難誘導

- ・ 全職員が避難所及び経路の確認ができているか。
- ・ 避難先は避難の実効性が確保された場所に設定されているか。
- ・ 歩行困難者の移動手段が確保されているか。
- ・ 屋内安全確保（上層階への移動）ができる施設か。
- ・ 施設周辺や避難経路に危険個所がないか。

3 避難確保資器材

- ・ 使用する資器材（食料含む）が必要数量確保されているか。
 - ・ 資器材の使用方法を把握しているか。
- ※必要に応じて訓練を実施（例：土のうの作成・積み方訓練等）

4 その他

- ・ 施設の火元等の安全の確認
- ・ 非常用持ち出し品の持参
- ・ 避難移動中の交通事故防止の注意喚起
- ・ 施設から避難場所までの移動時間の計測
- ・ 避難中の疲労感の確認